

プログラムの概要

団体名称	代表団体: 一般社団法人 シェア・ザ・ブラネット 協力団体: 株式会社 ジャングル・コア
実施規模	<input type="checkbox"/> 地域限定のプログラム: 1,000万円未満/3年以内に完了するもの <input checked="" type="checkbox"/> 全国展開のプログラム: 1,500万円未満/3年以内に完了するもの
実施期間	2020年3月～2021年5月(1年3ヵ月間)
実施場所	JICA 東京及び各参加団体事務所(もしくは近隣の会議室)
タイトル	「NGO オンリーワン戦略講座」 ～NGOの経営(組織運営)とブランディングによる組織力強化研修～
目的	<p>【NGO 団体の経営戦略としてブランディングを推進する】 経営(組織運営)力強化のために、以下の三点に注力し、総合的な組織体力を持ち、現場活動を社会へ発信する力のあるNGO団体をつくる。</p> <p>① 経営戦略として、団体のブランディング基盤を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミッションや団体のアイデンティティなど組織の中心に何があるか、を再確認し、この中心軸に基づき、活動現場計画とその成果のあり方を見直す。 ・団体活動にぶれない中心軸を持って、団体が何者で何をしているかを社会に伝え、社会からの理解を得られるコミュニケーション基盤を作る。 <p>② ①を推進するため、団体課題を抽出、組織経営全般を見直し再確認再構築する。</p> <p>一貫したブランディングの視点を持って、活動現場と経営現場の双方を稼働させることのできる組織を考える。(ひいてはファンドレイジングにつながる広報戦略が生み出せる強い組織を形成する)</p>
概要	<p>組織力強化研修第二弾として、今回は NGO 経営(組織運営)者とともにブランディング活動を推進していくことを通じて組織力アップを狙う。</p> <p>① 団体の現状と団体分析で課題を見極める(3日間の合同セミナー)</p> <p>② 個別課題を抽出し改善するポイントを決定する</p> <p>③ 団体固有の課題解決に向け個別相談とフォローアップを実施 最終成果を各参加団体の前で発表する</p>
受講対象者及び定員	<p>全国(北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄)</p> <p>日本国内に事務所を置く NGO の役員・職員(各団体から2名の参加を推奨)</p> <p>10団体20名</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 団体理事長・理事・代表・幹部(事務局長等)など団体経営(組織運営)に関わる人物が自団体を客観的に見、適切な課題解決策が実施できるようになる。 ■ 団体内コミュニケーション、団体が社会や賛同者に向けて行うコミュニケーション、双方が統一され、同一表現によって団体に対する理解が促進される。 ■ 団体の「資金/人材/経営プランニング・マネジメント(+情報・ネットワーク)」等、経営原則となる力が向上する。

	<p>■現場活動を中心軸とした、団体のブランディング(※下注)が進み、NGOの組織力が向上する。</p> <p>※注)ここでいうブランディングは、NGO団体の経営力(組織運営力)、現場活動力(現場活動の効果成果を出す力)が向上し、社会に対し、団体が何者であるか、および活動成果を発信することで、団体の存在が社会化され、活動資金、活動環境が向上することと考えています。</p>
<p>到達目標 を測る指標</p>	<p>■団体理事長・理事・代表・幹部(事務局長など)のリーダーと、団体の事務局担当や事業担当のコミュニケーションがスムーズに図れ、団体活動の中心である社会課題の解決(ミッション)に向け、団体内に働きやすい環境が整備される。また理事長・理事・代表・幹部(事務局長等)と、現地活動担当・社会発信担当との情報共有のための、人材や組織システムが構築される。そのために考案・変更等された組織形態等が成果として提出される。</p> <p>■団体経営(組織運営)・マネジメント力がつき、ブランディング活動(※前頁)が推進される事により、広報・ファンドレイジングも含め、団体の力が総合的に向上する。成果として、会員・サポーター数の増員、募金額の増額、ボランティア参加者の増員などが成果として見られるようになる。</p> <p>■団体の「核」が明確となり、「コアコンピタンス活動(団体の核となる中心的活動)」が特定され、社会課題を実際に解決に導く「活動現場」事業の立案運営展開の確認再考が行われる。</p> <p>また「活動現場の成果・実績」は、どんな社会現象なのか、それはどう形成すべきなのかが確定される。成果としては、事業の目的目標設定、実施スケジュールが作成されるなど。</p> <p>■「ブランディング」によって、団体がどんな社会課題をどんな方法で解決しようとし、どんな特徴性格を持つかという、団体の特性が整理され端的に理解できる、統一見解が形成され、統一された表現によって社会に向けてのコミュニケーション・ツールが作成され、団体内においても同一認識が持てるようになる。成果としては団体スローガンの設定、団体案内の作成、ホームページの整備運用など。</p> <p>■研修後、一般からの問い合わせやWEBアクセスが増える。</p> <p>■研修後、離職者が減る。</p> <p>■参加団体は、研修によって解決する課題を設定し、研修終了後、その課題が解決したか、解決しなくてもどのような対策を立て、進捗しているか、上記の6項目の指標も含め、研修終了事に報告することとします。</p>